

復興の邪魔をする反原発団体 中核派に負けないで!!

福島県は、地震・津波・原発事故と大変な被害を受けました。しかし、何より今だ払しょくされない風評被害が深刻です。デマを拡散する反原発団体、そして極左暴力集団中核派は反原発運動を利用して、資金を集め、拠点を増やし、武力による革命、政府転覆を目論むテロへの革命戦士へ育てる為に勧誘(オルグ)を行っています。
風評被害が払しょくされてしまうと、資金集めや拠点増やしやオルグが出来なくなってしまう為、反原発団体や中核派は、科学的データを認めようとせずデマを拡散して、復興の邪魔をしているのです。こんな中核派反原発団体に騙されないようにしましょう!!

☆体の使い方が分からない子供達

過度な健康被害やデマを拡散して不安を煽るような事を語り、子供たちを危険から守る為に外で遊ぶことを止めるように訴えてきた反原発団体。

子供たちを外で遊ばせなかったばかりに、体の使い方の分からない子供たちが増えています。滑り台のはしごが登れない、でこぼこ道を上手に歩くことが出来ない、交通ルールが分からない。

反原発団体などが主張する低放射線による健康被害は今分かっている所ではありませんが、外で遊ばなかった事による影響がだんだん分かってきました。全国平均を上回る肥満、運動不足。外で遊べない事により心にもストレスを感じている子どもたち。

低放射線を浴びることよりも、肥満、運動不足、ストレスの方がもっと怖い事を知りましょう。子供が外で学ぶ機会をこれ以上奪ってはなりません!

デマを拡散する反原発団体に騙されずにきちんとしたデータを参考にしましょう。

(放射線と生活習慣の発がんリスク)

放射線の線量(短時間1回)	がんの相対リスク*	生活習慣因子
	1.6倍	喫煙者
500~1,000ミリシーベルト	1.4倍	大量飲酒(毎日2合以上)
	1.29倍	やせすぎ(BMI<19)
	1.22倍	肥満(BMI≥30)
200~500ミリシーベルト	1.19倍	
	1.15~1.19倍	運動不足
100~200ミリシーベルト	1.08倍	
	1.06倍	野菜不足
100ミリシーベルト以下	検出困難	

☆反原発運動を利用して作った中核派の拠点

福島市にある「ふくしま共同診療所」が中核派の拠点だとして公安警察から報告があったと新聞記事に載りました。医療機関を極左暴力集団中核派が拠点にするという大変な事態になっています。知らずに診察を受け、個人情報の中核派に明け渡し、子供をオルグの危険に晒し、更には中核派の資金源ともなっています。このような医療機関はデマの拡散にも利用されています。福島県の甲状腺癌はチェルノブイル事故でによって発症した甲状腺癌と遺伝子レベルで違うという科学的データがあるにも関わらず、原発事故由縁の甲状腺癌だと言い続けています。放射線の影響で身体的な異常を示す科学的なデータは今ありません。

☆反原発団体の狙いは資金集めと勧誘

多くの反原発団体の狙いは、福島県を思って、子供たちの未来を思って、日本を思って…等では無く、反原発運動を利用して資金集めと勧誘と拠点作りが目的です。ある反原発団体では、約1年間で5000万円の募金やカンパを集め、中核派の資金として流用していた事実が発覚しています。デマに惑わされることなく、危険な極左暴力集団中核派の混じる反原発団体に加担するのは止めましょう!!

☘ 在日特権を許さない市民の会 福島支部 ☘

HP: <http://www.zaitokukai.info/> メールアドレス: zaitokuhukusima01@gmail.com

